

近畿進交會「令和4年度年頭ご挨拶」

近畿進交會会長 麻野広行



新型コロナウイルスの感染は、オミクロン株という変異株として、想像を絶するスピードで世界中に拡散し猛威を振るっています。我国でも6波に及ぶ急拡大で発生し、今も収束の兆しが見られず社会的不安が広がるばかりです。そのような中で、近畿進交會としても「集い」・総会が2年続けて中止となり、会員の皆様の元気なお姿に接することが出来ないのが残念です。まだまだ終息の気配が見られませんが、会員の皆様の中には、被害にあわれた方々がおられるのではないのでしょうか。心よりお見舞い申し上げます。そして、近畿進交會の活動にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、令和4年度の事業計画について少しお話させていただきます。

まず、秋の「集い」・総会の開催に向けて準備していきます。また、機関紙「しんこう」発行を5月と9月に予定し、会員の皆様には広く原稿を求めています。Y校・横浜市大時代や身近なこと・専門的なことなどです。ぜひ、「しんこう」編集長宛によろしくお願いいたします。

今までサークル活動として「ゴルフ親睦会」は続いておりますが、高齢化・参加者の減少傾向にあり会員の皆様に呼びかけ活性化していきます。また、新たにサークル活動として「落語を聴く会」・「歩こう会」をスタートします。こちらも興味がある方はご連絡ください。(asano3300ha@yahoo.co.jp 麻野まで)

年度幹事となって頂ける会員の方々を広く募集しています。関西に根付いて活躍されている方や事業をされている方です。特に、平成卒の方・女性の方が少なくご連絡をお待ちしております。

たとえ新型コロナウイルスが収束に向かっても、一度中止や縮小した人々の集まりや活動を再び元の姿に戻すためには大きなエネルギーが求められます。これからの同窓会活動では、誠実な幹事の皆様の大きなエネルギーに期待するだけでなく、情報の交換や共有などを可能にする「共感ネットワーク」の中で同窓生一人一人の小さなエネルギーを結集することが大切な取り組みとなります。そして、会員皆様の閉塞感脱却の一助になれば、うれしく思います。

今年こそ、お会いしましょう！！
近畿進交會「集い」11月12日(土)
開催します！

「集い」担当三木得生(昭53文)



コロナウイルス蔓延の影響で、2年連続して開催を中止しておりました近畿進交會「集い」を下記の通

り開催いたします。足かけ3年ぶりにみなで顔を合わせて杯を酌み交わし、大いに語り合いたしう。ぜひぜひご参加下さい。

記

令和4年度 近畿進交會「集い」
日時：令和4年11月12日(土) 正午～午後3時
場所：大阪新阪急ホテル(会費：?)

「サークル活動」の案内

「ゴルフ同好会」会員募集中

植田美夫 (昭 34 商)



近畿進交会で 30 年以上継続しているサークル活動にゴルフ同好会があります。只、最近、会員の高齢化に伴い、メンバーが大幅に減少し、2～3 組のプレーとなっていますが、毎回セルフプレー・ダブルペリヤ方式によるゴルフコンペで皆さん愉快地伸び伸びとプレーを楽しんでおられます。会場は交通事情を考慮し、目下は茨木国際ゴルフクラブにて、春・秋の 2 回開催し、次回は 4 月 21 日 (木) 西→北コースで開催が予定されています。

ゴルフ愛好家の皆さん！是非近畿進交会のゴルフコンペに一度お気軽にご参加下さい。

幹事は城島護彦さん (昭 44 商) ですが、ご参加ご希望の方は、麻野会長までご連絡を戴ければ、詳しいご案内を別途させていただきますので是非ご一報下さい。お待ちしております。



「池田と落語」

牧 一郎 (昭 51 医)



15 年ほど前に友人が寄席の小屋を作ることになり、その柿 (こけら) 落としに落語を聴きに行き、そこで初めて生落語を聴きました。

その公演の真打は桂雀三郎師匠で、前座で一番弟子の桂雀喜さんが出演されました。

それまで私は落語と言えばテレビで見るもの、

噺家さんは「笑点」のように大喜利もするという知識しかありませんでした。

そういうことで、私が初めて観た生の噺家は、雀喜さんということになります。その初めての噺が「池田の牛ほめ」というネタでした。

現在、私は池田で小児科を開業していますが、当時は市立池田病院に勤めていましたので、落語の題材に池田が入っているので興味を持ちながら聴きました。

のっけから少しできの悪い兄ちゃんが出てきて、池田の親戚が家を新築したのでほめに行って小遣いを稼ごうという話です。作戦を授かって、池田に出かけたのですが、この兄ちゃん、少し抜けているところがあり、親戚のおっさんを怒らせて、うまくいかないというお話です。

内容も面白かったのですが、「庭は縮緬漆喰 (ちりめんじっくい)、棗形 (なつめがた) の手水鉢、石灯籠がええ。畳は備前表の寄減 (よりへり)、萩の違棚、南天の床柱、天井は薩摩杉の鶉空 (うずらもく)・・・」という誉め言葉がでできます。文字を読むのも大変なのですが、これを雀喜さんは立て板に水のごとく、よどみなく聴かせてくれました。テレビでは見られない生の迫力を感じました。また真打の雀三郎師匠は、枝雀師匠譲りの激しい芸風で大笑いをしたのを覚えています。そんなことで私の寄席通いが始まりました。



この高座の写真は、「雀のおやど」といいまして、私が初めて落語をライブで観た寄席の小屋です (2 年前に閉鎖されて今はありません)。ここでは、落語の楽しさを知っただけでなく、いろんな噺家さんとの出会いがありました。

今は応援している桂ちょうばさんの独演会を聴きに行くくらいしか、時間が取れませんが、近畿進交会で「落語を聴く会」ができればまた落語を楽し

む生活に戻りたいと思っています。ぜひ皆さんも、「落語を聴く会」で人との出会いを楽しみましょう。ご興味ある方は是非ご一緒ください。(参考文献)

『米朝ばなし-上方落語地図-』桂米朝作
(講談社文庫)



「歩こう会」の案内

麻野広行 (昭 50 商)



平日の昼間に大阪城公園では、よくランニングされている公務員の方々を見かけます。ある公務員に尋ねると「様々なストレスを抱えて気分転換の為であったり健康維持も兼ねて走っています」と言っておられました。

今回、同窓会活動の一環としてサークル活動「歩こう会」を実施します。歩くことで新たな発見や感動があり、そして仲間たちとのコミュニケーションを語り健康維持を目的とします。

第一回「歩こう会」は薬師寺から唐招提寺をめぐるります。薬師寺は私の出身高校の先輩高田好胤様のご尽力された事でも有名です。インドの女神とされる吉祥天を本尊として金堂の薬師三尊像とともに天下泰平五穀豊穰、病魔退散など様々な願いをかけます。唐招提寺は、あまりにも鑑真和上で有名ですが一歩門の中に入るとその壮大さに圧倒されます。

日時：5月21日(土) 13時

近鉄(樫原線)西ノ京駅集合

二回目以降は関西各地で開催できればと思います。

近畿 Y 校会会長就任のご挨拶

井原幸治 (昭 55Y)

近畿進交会・近畿 Y



校会会員の皆様には、平素より同窓会の活動を通じた親睦・交流に心より感謝申し上げます。

本年度より前任内田会長の後任として近畿 Y 校会の会長を務めさせていただきます井原幸治 (S55Y 卒) と申します。新型コロナ蔓延に伴い、交流活動が制限される中、本年こそは、会員相互の交流が実現できることを祈りつつ、新たな親睦企画を考案中です。何卒よろしくお願い申し上げます。

近年、会員相互の交流が思うように出来ない中、母校の近況を Y 校 OB で現在、Y 校商業科教諭の佐藤邦宏先生との対談によりご報告させていただきます。(以下敬称略)

Y校 H11卒 vs S55卒 ZOOM対談



井原) はじめまして。私は、S55 年 Y 校を卒業し、日本大学から大学院へ進学し、酒類メーカーで社会人を経験した後、現在、東大阪大学国際教養こども学科の教授をしております。

佐藤) 私は、H11 年 Y 校卒で、駒澤大学進学、神奈川県教員を経て東京学芸大学大学院教育学研究科を修了し、横浜市教員となり現在、Y 校商業科 YBC クラスの主任をしています。

井原) 佐藤先生は、軟式野球部の監督をされていると聞きました。昨年は、全国大

会出場、おめでとうございます。

佐藤) ありがとうございます。実は、2010 年にも監督として軟式野球の全国大会に出場していました、11 年ぶりの快挙達成となりました。前回の全国大会出場の際には、近畿 Y 校会の皆様に応援していただき、大変うれしかったことを覚えています。

井原) このようにクラブ活動にも注力され結果も残されていますが、先生は、YBC (進学クラス) の主任をされているとのことですが、クラスの特徴、近況などを教えて下さい。

佐藤) 商業科で大学卒業後にも役立つビジネス科目を学び、商業科目を大学受験科目としても利用し、大学進学を目指すクラスです。多くの生徒が、希望する有名大学に進学しています。Y 校の特徴として、卒業してからも多くの生徒が文化祭などに帰ってきてくれます。加えて、他校との数字的な比較は分かりませんが、Y 校生は、親御さんが Y 校卒の方がとても多いことや、兄弟姉妹が Y 校生の入学者も実に多い学校です。この特徴は、伝統的に Y 校生活そのものが、充実しているとか達成感があるという肯定的な感情に支えられているからだと思うんです。

井原) そうですね。私も在学中、幾度か OB の出張授業を受けたことがあります。国税専門官の方とか経済的な問題から夜間大学へ進学し、横浜市教員になった先輩のお話を聞きました。その時の身が震える感情を今でも鮮明に覚え

ています。そして、先輩方が異口同音に仰ったことは、「Y 校は、単なる高校ではなく Y 校なのだ」ということです。140 年の伝統と独特の校風、例えば、校歌斉唱時の異常に大きな音量とか (笑)。

佐藤) そうですね。私の在学中も現在も、Y 校生は、大声で校歌を歌っていますよ。進交会、Y 校会の皆様に望むことは、ホームカミングデーなどを利用して、Y 校に訪問していただき、今の Y 校生に色々な経験を伝えていただきたいということです。また授業などでも卒業生の社会人としてのお話を伺いたいですね。

井原) 私も卒業生の一人として、応援できることがあれば、喜んで協力したいと思います。多くの進交会・Y 校会の会員も同感でしょう。本日は、お忙しい中、有難うございました。

事務局長就任のご挨拶

塚本義久 (昭 58 商)



このたび、事務局を預かることとなりました昭和 58 年商学部卒の塚本です。これまで諸先輩が積み上げてこられた近畿進交会の活動をしっかりと支えることができるよう、堅実な事務局の運営に努めて参りますのでよろしくお願いいたします。

さて、事務局を引き継いで早速ですが、会則の改定を担当させていただくこととなり、近畿進交會会則改定案を幹事会案として提案いたします。

(10P.~12P.ご参照ください)

昨今、近畿進交会の運営を取り巻く環境も大きく変化してまいりました。特に個人情報保護制度の定着に伴い、新規卒業者の近畿地区への就職等に関する転入情報の取得が非常に困難になっています。また、卒業生の母校や同窓会への帰属意識の希薄化という傾向も強まっています。

今回の会則改定はこうした、同窓会組織に対する逆風の中コツコツと実績を上げてこられた取り組みを継承して、幹事会を中心として運営組織が一体となって活動を進めていける体制を強化することと、近畿進交会の活動の基盤を支える会員相互の交流を一層深めることができるよう親睦会活動を会則に正式に位置づけるという2点が主なポイントです。

内容をご検討のうえ、秋に開催される総会においてご承認いただきますようお願いいたします。

副会長退任にあたって

内田正雄(昭35Y)



昨年6月に満80才になり、高齢化のため、この度、近畿進交会の副会長を退任することと致しました。

永い間、心身共にご協力・ご支援を頂き誠にありがとうございました。

近畿Y校会の会長も務めていた私の役目のひとつは、Y校OBが1人でも多く近畿進交会に加入し、『近畿進交会の集い』やその他の行事に参加してくれるように取り組むこととと思っていました。しかし、近畿Y校会は、高齢化が進み、また昨今はコロナ禍のためもあり、成果を上げることが出来ませんでした。

また、Y校会に主軸を置いていたため、近畿進交会の活動も十分ではなく、申しわけなく思います。

副会長就任の挨拶の中で、進交会を文字で『親しみ易いの親・健康の康・愉快の快』の『親・康・快』になるように努めたいと述べました。

この気持ちを忘れず、今後も一会員として、近畿

進交会の行事に参加して行きたいと思っています。

事務局長退任のご挨拶

森岡 章(昭46商)

2015年より約7年間事

務局を担当してきました

が、この度塚本さん(昭58商)に引継ぎ頂くことにな



りました。引継ぎをお願いした大きな理由は、自分はデジタル化・IT化についていけないアナログ人間であるにつくづく認識させられたことです。例えば、PCソフト変更や不具合対応等に困って時間ばかり過ぎるといった状況でした。

一方、事務局として今までの資料・データの整理とまとめ及び事務局としての運営は皆様のご協力により果たせたのではと思っています。深く感謝申し上げます。

さて、事務局を担当した2015年と現在を比較しますと、近畿進交会の総会員は725名から616名へと漸減し「集い」への参加者も減少しています。決して活発な活動が出来ているとは言えない状況です。

今まで活動主体の昭和30~40年代卒会員の高齢化と平成卒以降会員の参加増が図れていないことが主因と考えています。また、市大の現状を見ると学生の男女比は女性が59%と今までと逆転しており、女性の参加増が近畿進交会の活性化に直結するとも考えています。今年は新たにサークル活動を展開する予定ですのでぜひご参加をお願いします。

最後に改めてのお願いですが、①気楽に「集い」に参加をしてみてください。必ず人生100年時代の新しい出会いがあるはずで、②近畿進交会活動を支える「運営会費」の納入も忘れずをお願いします。

令和3年度後半運営会費納入者ご芳名 (2022.3.5 現在)

商学部

昭 32 前田治之	昭 33 木村勝彦
昭 34 朝井幸洋 竹内義勝	昭 35 西尾健
昭 36 藤井建次郎	昭 37 川副修平 十時弘
昭 43 廣内禎介 大木祐二	昭 46 岡崎智
昭 47 村井茂至	昭 49 竹田博
昭 51 内山隆夫	昭 56 中津川晴通
平 6 松野友明	

文理学部

昭 37 伊東祐一郎 竹山喜盛	昭 52 三木京子
昭 53 三木得生	昭 57 升光 泰雄
昭 60 和田喜彦	

会員異動・お便り

堀野 克文	昭 33 商	2021.7	ご逝去
渡辺 八郎	昭 21 Y	2021.6	ご逝去
松本 隆幸	昭 63 商		枚方市転居
(杉本)			改姓
塩見 雅子	平 15 商		宛先不明
大江奈々央	令 2 国総		宛先不明
松岡 信宏	昭 41 商		転居先不明
野村 庸二	昭 43 商		転居先不明
根岸 洋	昭 35 商	2019.5	タイ移住
石村 龍男	昭 42 商		地番変更

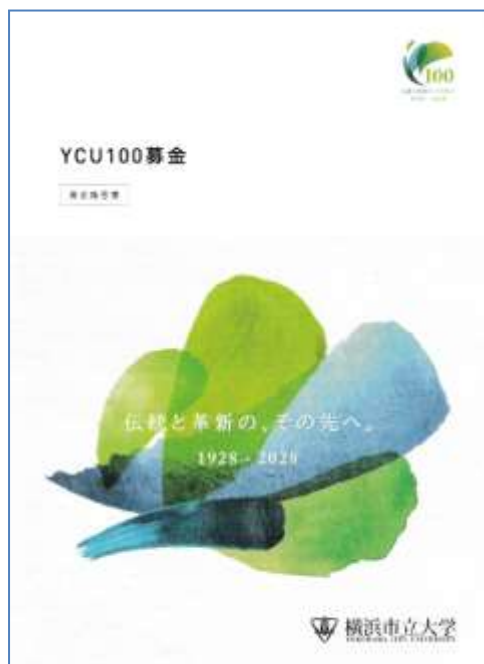
・ご協力ありがとうございました。(年度計 101 名)

トピックス

・創立 100 周年への思い

去る令和 4 年 3 月 2 日及び 3 日に、横浜市立大学基金本部より、富田勇一氏（担当課長）と尾山靖氏（渉外担当）が近畿進交会会長及び副会長を訪問され、創立 100 周年事業にむけての熱い思いを語っていただいた。

両氏のメッセージ：横浜市立大学は、2028 年に創立 100 周年という大きな節目を迎えます。これから 100 周年に向けて 4 つのプロジェクトを推進するため「YCU100 基金」を設立いたしました。教育・研究・医療の分野で更に社会に貢献し続ける母校のため、ぜひ近畿進交会の皆様のご支援を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。



YCU Vision 100～4つの記念プロジェクト～			
4つのプロジェクト	実施・検討中のプログラム	目標金額と計画案	2028年
教育 01	デジタル人材育成・継承支援プロジェクト グローバル人材育成プログラム アドバンサード養成講座プロジェクト	2億円以上 2025年度から2028年度まで （YCU100基金）等による継続的投資	100 周年 記念 事業
研究 02	新たな研究開発プロジェクト 研究開発費・博士課程授業へ 研究・キャリア支援	2億円以上 2025年度から2028年度まで （YCU100基金）等による継続的投資	
拠点整備 03	学生生活・国際化推進プロジェクト 学生コミュニティベースの施設 サークル増設等	2億円以上 2025年度から2028年度まで （YCU100基金）等による継続的投資	
社会貢献 04	社会貢献・国際貢献プロジェクト 産学連携人材育成支援 海外連携推進プロジェクト	1億円以上 2025年度から2028年度まで （YCU100基金）等による継続的投資	
00 大学へ一任			



近畿進交会臨時幹事会議事録

開催日時：令和3年12月11日14時～

出席者：麻野、三木、川戸、大井、内田、
森岡、田邊、竹田、大上、牧、井原、
古内、植田、小林、書記：塚本

開催場所：大東洋梅田店

①役員改選と新役員体制

- ・幹事等辞任：内田幹事、森岡幹事、奥村幹事、小林顧問
- ・新役員：井原幹事（近畿Y校会会長）、塚本幹事（事務局長）、内田幹事（顧問）、森岡幹事（顧問）

②「近畿進交會会則」改定

- ・第3条について適切な規定を検討。
- ・その他、現状に合わない規定の改定や活動活性化のための規定の新設などを検討。

③機関紙「しんこう」発行について

- ・年2回の発行（従来通り）
- ・役員交替に伴う寄稿：内田、森岡、井原、小林、塚本に依頼（2月末締切り）
- ・「集い」の新規参加者の挨拶を掲載する等内容充実を図る

④進交會本部及び横浜市大同窓会との連携検討

- ・市大100周年（2028年）に向けて

⑤近畿進交會会員の勧誘・年度幹事の増員

- ・「集い」の新規参加者へのアプローチ（年度幹事への勧誘）
- ・女性比率の増加に伴う女性向け対策の検討

⑥事務局の引継ぎについて

- ・引継ぎ事項と内容の概略報告（事務局業務内容）
会員名簿管理・管理資料と分類・その他。会費納入状況（100名）と会員の異動状況の報告

⑦サークル活動について

- ・推進者の設定：ゴルフ会（植田）、落語（牧）、歩こう会（麻野）

⑧令和4年度の「集い」について

- ・実施する方向で推進：時期～秋、場所～ホテル

⑨令和4年度の幹事会及び編集会議

- ・幹事会：2月5日（土）、5月、「集い」の開催前
- ・編集会議：3月12日（土）

近畿進交會令和4年度第一回幹事会議事録

開催日時：令和4年2月5日14時～

出席者：麻野、三木、川戸、大井、大上、牧、
塚本（書面提出者：植田、内田、
森岡、井原、古内）

開催場所：インスシヨールーム

①令和4年度「集い」について

日時：11月12日（土）12時～15時

場所：大阪新阪急ホテルにて同窓会プラン

内容：第2回幹事会にて具体案を検討

予告：「しんこう」75号に掲載。コロナ禍にて中止の場合もある。

会費：参加者一人あたりの支援検討

②次回の「しんこう75号」発行について

- ・年2回発行：4月末（今年は5月10日頃）と9月中旬（今年は9月30日頃）

- ・編集会議：3月19日（土）、8月6日（土）

- ・ページ数：基本8ページとし原稿量による。

- ・原稿予定：内田顧問・森岡顧問・井原幹事・塚本幹事

- ・会長：新年度あいさつ（麻野会長）

- ・「つどい」担当幹事コメント（三木副会長）

- ・サークル活動案内文：植田相談役・牧幹事・麻野会長

- ・しんこうの紙面を通じての活動予定や参加者募集は難しいと思うので、どうしても活動報告が中心となると思う。

- ・サークル活動のところで改めて議論。

③「近畿進交會会則」改定

- ・第3条：自宅住所を掲載すると、事務局長交代の都度改定が必要。表記方法を検討。

- ・その他執行体制の規定を役員一体で取り組むような規定に改定。

○近畿進交会会費納入の依頼

○幹事会議事録（書面・臨時幹事会）

・幹事会終了後できるだけ速やかに事務局担当幹事から役員へ配信（塚本幹事）。

・近畿進交会会費納入者リスト、会員動向（転居他）についてサラトからのデータ

○「集い」開催の可否決定時期、開催する場合の事務及び「しんこう」76号発行

（主な意見・決定事項）

- ・9月30日頃の発行で開催の可否をお知らせし、開催の場合は出欠の連絡はがきの同封の準備が必要。
- ・決定時期は、開催見送りとなった場合の新阪急ホテルのキャンセルを見込んで開催日時の1ヶ月以上前には必要。また、8月6日にしんこう76号の最終の編集会議を設定すると、この時までには開催の可否を決定する必要がある。
- ・8月6日までにメール審議も含めて幹事会を開催する。

③年間予算案

（主な意見・決定事項）

- ・これまで、「集い」の開催日の開会前に総会を設定して、事業報告と決算報告及び監査報告をして出席者の承認をもらってきているが、なぜ予算の審議と承認をどのタイミングでもしていないのか。どんな団体でも予算案と決算の承認は常識だと思うがいかなものか。
- ・これまで、はっきりとした事業計画に基づいた運営をしてきた訳ではない。しんこうの発行、つどいの開催、幹事会の開催に必要な経費は経験的に把握できている。そのほかの具体的な事業はなかった状態。ここ2、3年でやっと会としての活動が明確化されるころまで来た。今後、事業計画をより具体的にしていける段階で、必要な費用を見積り、予算案にしていけるようにしていけるべき。
- ・現状では、会員に対する決算及び監査結果の報

告とそれに対する承認を得ることで会費の用途の透明性は担保できている。

④会員の増員及び年度幹事の充実：共感ネットワークの具体策

○平成卒及び女子の方々への呼びかけ。

○「集い」新規参加者へのアプローチ（年度幹事として）挨拶を「しんこう」に掲載する。

（主な意見）

- ・「集い」への新規参加者へサークル活動などへの参加促進を図る。
- ・地元で活躍している方々（いわゆる師（士）業（開業医、会計事務所、税理士事務所）、企業経営者等）の会への参加促進。進交会本部や市大同窓会に働きかけて、リストをもらえれば。
- ・以前、サラトの住所録で年次の近い人にはがきを出したら何人かは反応があった。そのうち一人は「集い」に出席してくれた。地道な活動が大事。

⑤サークル活動

ゴルフ親睦会：植田相談役と城島様より春と秋の開催を案内

落語会：牧幹事と大上幹事より開催予定の案内

歩こう会：麻野会長と内田顧問より春と秋の開催予定を案内

第一回は5月中旬か6月初旬にて開催（「しんこう」にて参加者募集）薬師寺から唐招提寺を鑑賞します。（近鉄西ノ京駅集合）

（主な意見）

- ・ゴルフ親睦会はウィークデーで春は4月中旬に開催予定。
- ・落語会は現下の状況では会場を押さえて寄席にみんなで集まってという形式で開催するのは難しい。落語家の中にはネットコンテンツを提供している人もいる。そういった点も踏まえて、具体的な開催計画を作って提出するので検討してもらいたい。
- ・「集い」の出欠はがきに興味が引かれるサーク

ル活動のアンケートを入れても良いのではない
か。

- ・歩こう会は5月21日（土）で開催する案内を
したい。まずは1回やれば、活動の様子を「し
んこう」に掲載することができる。
- ・現状では幹事など活動を知っている人にしか
伝えられていないのでは意味がない。一般の
会員に広く呼びかけてサークルに参加しても
らって、近畿進交会の会員相互のつながりを
深めていくことができなかつたら何のための
サークル活動なのか。
- ・近畿進交会としてサークル活動をやっていく
と決めるのなら、会の方できちんと世話人の
通信費などの費用を手当すべき。
- ・まずは始めることが大事。軌道に乗ってきたら
やり方とか必要な経費の手当などを考えてい

けば良い。

- ・サークル活動の他に本部が推進している SDGs
の活動などに連携して何らかの対応が必要で
はないか。現状では目的を持たない単なる親
睦会のような状態。
 - ・まず加入者の増加、特に若い世代の加入促進な
どで組織の足腰を強くするのが先決。その上
で、文化的な活動や社会的な活動に取り組み
ようにしていくような仕掛けをすることがで
きる。
- 市大同窓会のセミナーの案内など、本部周辺
の活動の情報は役員に配信するようにしてい
るので、目配りをしながら当面の目標を達成
していきたい。

⑥次回幹事会

5月28日（土）14時よりインスショールーム

（ 近畿進交会 組織図 令和4年度 ）

会長	麻野広行	
副会長	三木得生	「近畿進交会の集い」担当
副会長	川戸眞吾	会計担当
編集長	大井 孝	「しんこう」担当
事務局長	塚本義久	編集委員
近畿Y校会長	井原幸治	「Y校卒」担当・編集委員
常任幹事	田邊俊二	年度幹事・女性幹事勧誘担当
常任幹事	竹田 博	監査役
幹事	牧 一郎	「医学部卒」担当
幹事	大上正通	編集委員
幹事	古内秀樹	「平成卒」担当
幹事	岡田久子	「看護学科卒」担当
相談役	植田美夫	
顧問	内田正雄	
顧問	森岡 章	
サークル世話人	ゴルフ会：植田相談役（城島）	
	落語会：牧幹事	
	歩こう会：麻野会長	

近畿進交會会則（改定案）

必要に応じて各条項の※書きにより改定案の趣旨を説明しています。

第1章 総則

（名称）

第1条 この会は近畿進交會という。

（設立）

第2条 この会は昭和57年（1982年）1月26日に一般社団法人進交會の近畿支部として設立し、平成23年（2012年）1月の設立30周年を期して近畿進交會と改称した。

（事務局）

第3条 この会の事務局を事務局長宅に置く。※現行規定では事務局長交代のたびに条文改定が必要となるため。

第2章 目的及び事業

（目的）

第4条 この会は会員相互の親交を図るとともに、母校との連絡・情報交換を目的とする。

（事業）

第5条 この会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- （1）会員名簿の作成及び管理
- （2）会員相互の親交を図るための情報交換並びに会合の開催
- （3）機関紙「しんこう」の発行
- （4）母校並びに進交會本部との連絡に関する事項
- （5）その他目的を達成するために必要な事項

第3章 会員

（会員）

第6条 この会の会員は次の通りとする。

（1）正会員

横浜市立大学及び横浜市立横浜商業高等学校並びに各校の前身校（Y専等）の卒業生で近畿地区に在住もしくは在勤する者とする。

（2）名誉会員

この会に対し特に功勞のあった者で幹事会にて推薦された者とする。

第4章 運営会費

第7条 正会員は、この会の運営会費として毎年三千円を納めるものとする。

なお、当該年度の運営会費のほか、本会運営に対する寄付については別途受納することができるものとする。※寄付受納に関する規定を追加しました。

第5章 役員及び任務

（役員）

第8条 この会に次の役員を置く。

（1）幹事 30名以内（内、会長1名、副会長5名以内（内、事務局長1名、会計1名、「しんこう」編集長1名）及び常任幹事若干名を執行役員とする。）

※現行の規定も会長、副会長の執行役員が幹事と一致団結して運営に取り組む趣旨の規定ですが、会長、副会長以下の執行役員も幹事の一員として幹事会を構成し、会務の遂行に一体として当たるという趣旨をより強く条文に表しました。

（2）会計監査 2名

（3）相談役 若干名

（4）顧問 若干名

（役員を選任）

第9条 幹事は原則として各卒業年次より選出し、幹事会を組織する。※「在勤企業別」の規定を削除しました。

2 幹事は幹事会において互選により会長ほかの執行役員を選任する。

3 会長は副会長、事務局長、会計、編集長及び常任幹事並びに会計監査を指名することができる。ただし、全て幹事会の了承を得るものとする。

4 相談役及び顧問は幹事会の推薦に基づき会長が委嘱する。※第2、3及び4項で役員選任規定を整理しました。
(会長・副会長)

第10条 会長はこの会を代表し、その運営の責任者となる。

2 副会長は会長を補佐し、会長に支障があるときはその任務を代行する。
(事務局長)

第11条 事務局長は本会運営の事務全般を担当する。特に会員の動静は会運営の根幹であり、会活動の円滑な運営に資するため会員の異動を常に掌握し、変更等について「しんこう」各号に掲載する。
(会計)

第12条 会計はこの会の収支等会計業務全般を担当する。
(編集長)

第13条 編集長は機関紙「しんこう」の発行にかかる編集全般を担当する。編集長は必要に応じて編集を円滑に進めるため編集委員を任命することができる。※本条を新設し編集長の職及び職務を明確に位置づけました。
(会計監査)

第14条 会計監査はこの会の会計処理について、正しく監査を行う。
(幹事)

第15条 会長以下の幹事は幹事会を組織し、会員の意見集約・情報交換等を行うなど、この会の運営を主体的に担う。また、会長・副会長が主管する委員会活動に積極的に参加する。※第8条第1項第1号改定理由参照。
(相談役・顧問)

第16条 相談役・顧問は会長、副会長の諮問に対して直接助言する。また、会議に出席して意見を述べる。※相談役・顧問の役割を具体的に条文に示しました。
(任期)

第17条 この会の役員任期は、2年とし再任を妨げない。

2 会長は5月に幹事会を招集し、2年毎に改選を行う。
なお、役員は任期満了後も後任者が就任するまではその任務を行う。

第6章 総会及び会議

(総会) ※総会に関する規定を新設しました。

第18条 総会は全ての会員によって構成される。

2 総会は次の事項について審議する。

- (1) 会長、副会長、常任幹事、会計監査の選任に関すること。
- (2) 会則の変更に関すること。
- (3) 事業報告に関すること。
- (4) 会計報告、会計監査に関すること。
- (5) その他本会の運営及び事業に関すること。

(会議) ※総会以外の会議に関する規定を新設しました。

第19条 幹事会は幹事及び会計監査で構成される。

2 幹事会は本会の運営、事業の実施その他必要な事項を審議・決定する。

3 正副会長会は会長及び副会長で構成される。

4 正副会長会は本会の運営、事業に係る企画検討その他必要な事項を審議・決定する。

(招集) ※総会以下の会議に関する招集規定を新設しました。

第20条 年次総会は会計年度終了後適当な時期に、臨時総会は必要に応じて随時招集する。

2 総会は幹事会の決議に基づき会長が招集する。

3 幹事会及び正副会長会は必要に応じて会長が招集する。なお、幹事会は原則として年3回程度は開催するものとする。

4 編集会議は必要に応じて編集長が招集する。

第7章 親睦会

(集い)

第21条 会員相互の親睦を図ることを目的として、「集い」を原則毎年開催し、その第1部では必ず年次総

会を実施する。

2 会長は「集い」を企画・運営するに当たり、役員に役割分担と協力を依頼することができる。

(サークル活動) ※サークル活動に関する規定を新設しました。

第22条 会員相互の親睦を図ることを目的として、スポーツ、文化その他任意の活動(以下「サークル活動」という。)を推奨し、広く会員の参加を募るものとする。

2 サークル活動は幹事会に届け出られた世話役が中心となり、会員への案内や報告を機関紙「しんこう」に掲載する。

第8章 会計

(会計年度)

第23条 この会の会計年度は、毎年4月1日に始まり3月31日に終了する。

(収支決算報告)

第24条 この会の収支決算は、毎年会計年度終了後の総会において会計監査の意見を付けて会員に報告するとともに、機関紙「しんこう」に掲載するものとする。

第9章 会則の改定

第25条 この会則は、幹事会及び総会において各出席者数の三分の二以上の議決を経て改定することができる。ただし、必要に応じての文言等の修正は幹事会の議決による改定を妨げない。

「運営会費」納入のお願い

近畿進交会の2022年度「運営会費3,000円」を同封の郵便局「払込取扱票」にてお振込みしていただきますよう、お願い申し上げます。(本部からの「進交会報」とは、別途のご案内となっております。)

～2021年度も「集い」の開催が無く、会費納入者は101名という結果でした。

近畿進交会の活動を継続していくために、会員皆様の積極的納入をよろしくお願い申し上げます。～

編集便り

機関誌「しんこう」は会員の皆さまのご協力で編纂しております。「日頃思っていること」、「わが町の自慢話」、「学生時代の思い出」、「趣味・娯楽に関すること」等、なんでも結構ですので、気軽に投稿してみてください。原稿は、下記編集子までメール送付してください。

大井宛 携帯：090-1021-7574 MAIL: taka236428@kcn.jp

大上宛 携帯：090-3708-8674 MAIL: masamichi.oue.0001@gmail.com

井原宛 携帯：080-4233-1013 MAIL: iharak@hb.tp1.jp

なお、郵送の場合は、下記住所あてお送りください。

〒610-0343 京都府京田辺市 大住仲ノ谷2-12

大井 孝 宛

次回近畿進交会の「集い」は
2022年**11月12日(土)**
新阪急ホテル(12時～15時)

※新型コロナウイルスの終息状況により、会場およびスケジュールの変更の可能性あり。なお、平成31年・令和2年・令和3年・令和4年卒業の方は、特典あり。

